

水通信



2020.10.29 第176号

「水通信」は、水資源機構（主に中部管内）における取組に関する情報を、中部管内の関係者（県、市町村、土地改良区その他関係機関）の皆様方に、直接配信させていただいております。

※目次の事業所名等をクリックすると、その事業所等の記事に移動します。

各事業所名をクリックすると目次に戻ります

目次

☆ [【巻頭言】](#)

- 中部支社事業部次長 武田 真吾

☆ [【中部管内水源情報】](#)

☆ [【新着情報】](#)

[中部管内に紅葉シーズン到来](#)

[中部支社](#)

- 大規模地震を想定した防災訓練を実施しました
- 令和2年度（第23回）中部ブロック技術研究発表会を開催しました

[豊川用水](#)

- インターンシップを実施しました
- 田原市博物館にて豊川用水が紹介されています

[木曽川水系連絡導水路](#)

- 「冠山登山道清掃活動」に参加しました

[愛知用水](#)

- 篠島小学校（南知多町）と錦津小学校（八百津町）の交流学習会を実施しました
- 牧尾ダムの地元である王滝村立王滝小学校5年生の施設見学会を実施しました

[木曽川用水](#)

- 進藤金日子総務大臣政務官が濃尾第二施設を視察
- 可搬式ポンプの操作訓練を実施しました
- インターンシップを実施しました
- 白川取水口（木曽川右岸施設）のフラッシング操作を実施しました
- 稲沢市立長岡小学校の児童らと木曽川の堤防清掃を行いました

岩屋ダム

- 環境体験学習会を開催しました
- 岩屋ダム魚下敷きを作成しました
- 下呂市立竹原小学校の岩屋ダム施設見学会を実施しました

阿木川ダム

- インターンシップを実施しました

徳山ダム

- 苗木のホームステイ活動を実施しました

長良川河口堰

- 大規模地震を想定した地震防災訓練を行いました

味噌川ダム

- 河川整備作業を行いました

三重用水

- 交通安全講習会及びテロ対策講習会を実施しました
- 赤川の清掃活動を実施しました

☆ 【イベントカレンダー】

- 令和2年11月～12月

☆ 【編集後記】

- 担当課 中部支社事業部 水路事業課

巻頭言

【中部支社事業部次長 武田 真吾】

コロナ禍という特異な状況の中で、まもなく出水期を終えようとしています。

今年も九州地方を襲った7月豪雨をはじめとして全国で風水害が発生し、各地に甚大な被害を及ぼしました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

少し古い話ですが、平成17年度に中部地方整備局において『中部地方の天変地異を考える会』という有識者勉強会が設置され、スーパー伊勢湾台風、大規模な洪水や渇水、東海・東南海・南海地震の同時生起と津波、富士山の噴火などの事象に対する被害想定と対応方策についての話し合いがなされました。

それから十数年の間に、東日本大震災、熊本地震、御嶽山や霧島山の噴火、台風の巨大化、大規模な洪水などが日本各所で発生し深刻な被害をもたらしましたが、『大規模な渇水』だけが未だ発生していないといった状況です。

実際には渇水は繰り返し発生してきており、関係機関や利水者の皆様の様々な節水対策のおかげで大きな被害を免れてきました。昨年5月には豊川水系の宇連ダムが枯渇し、ひび割れたダム湖底が映像としてニュースに取り上げられたことは記憶に新しいところです。

渇水被害は降雨の状況と、その時期における水需要という2つの変数が掛け合わされて被害の程度が決定されることもあり、よほど極端な少雨が継続しない限り渇水被害が顕在化することは少なく、結果的に報道に取り上げられることは風水害などと比較して圧倒的に少ない状況です。

中部地方整備局で一昨年から始められた『中部地方水供給リスク管理検討会』では、温暖化に伴う降水量の変化について分析されており、平成6年渇水と同規模の降水量（少雨）は、将来気候（4℃上昇）の状況下では現在気候に比較して2倍近く発生しやすくなるといった分析結果を示しています。

木曾川水系連絡導水路は平成6年のような異常渇水時に徳山ダムに確保した水を木曾川及び長良川に導水し、河川環境の改善を行うとともに、同じく徳山ダムで開発した都市用水を尾張地方に

供給する重要な役割を担います。

将来起こりうる大規模な渇水をはじめとする水供給リスクについて、この検討会でどのような議論がなされるのか見守っていきたいと思います。

中部管内水源情報

【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける10月29日現在の降雨及び利水貯水率については、下表のとおりとなっています。

木曽川水系の4ダム（牧尾・岩屋・阿木川・味噌川ダム）の10月降雨量は平年を上回る状況（平年比105%～152%）となり、4ダム合計の貯水率は97%（平年比111%）と、平年を上回る貯水状況となっています。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの10月降雨量は、平年を上回る状況（平年比100%～108%）となり、豊川用水全体（宇連・大島ダム、各調整池）の貯水率は95%（平年比110%）と平年を上回る貯水状況となっています。

中部管内各ダムにおける10月の降雨及び利水貯水率（10月29日現在） 単位：（%）

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨の平年比	148	152	142	105	100	108	140	66
利水貯水率	91.0	100	100	100	94.1	99.1	78.1	100
（平年比）	(120.6)	(106.6)	(103.4)	(108.1)	(114.8)	(104.2)	(101.6)	(100)

- ・ 中部支社管内の各ダム貯水状況等は中部支社HP内の「水源情報」でご覧いただけます。

中部支社HP <https://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

「水源情報コーナー」

◆リアルタイム情報 <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html>

◆中部管内の水源状況（平日更新） <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/>

◆ダム貯水状況グラフ、節水情報など

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessuijyouhou31-1.html>

新着情

中部管内に紅葉シーズン到来


今年も暑かった夏が過ぎ、さわやかな風の通り過ぎる秋になりました。中部管内の施設及びその周辺地域では、これから紅葉の見頃を迎えます。今は、新型コロナウイルス感染症対策などのために、ダムカードの配布を休止していますが、11月1日から配布を再開する予定です。ダムカードを集めつつ紅葉を愛でる。そんな一石二鳥の中部管内の施設見学で短い秋のひとときを満喫されてみてはいかがでしょうか。

なお、状況により、ダムカード配布休止期間の延長となる場合もありますので、巻末の各事業所のホームページ（[こちらをクリック](#)）でご確認ください。

また、施設のダムカードについては、こちらからご覧いただけます。

<https://www.water.go.jp/honsya/honsya/torikumi/tourism/damcard/index.html>




 味噌川ダム 奥木曾湖（長野県木祖村）




 阿木川ダム 遊歩道（岐阜県恵那市）



 三重用水 菰野調整池（三重県菰野町）



 愛知用水 牧尾ダム（長野県木曾町・王滝村）

中部支社

○ 大規模地震を想定した防災訓練を実施しました

9月1日（火）、中部支社及び中部管内事務所は、地震防災訓練を実施しました。

地震防災訓練は、独立行政法人水資源機構防災業務計画及び同細則と各事務所等が策定する業務継続計画（大規模地震編）に基づき、地震発生時における防災業務の円滑かつ適切な遂行に資するとともに、職員の地震に関する防災意識・対応能力の向上を図ることを目的とし、毎年実施しています。

訓練は、午前9時に巨大地震が発生したと想定し、職員及び家族の安否確認状況、各事務所での施設点検報告、被災箇所の応急対策検討など、情報の伝達訓練でしたが、管内事務所からの鳴り止まない報告の電話や、連続するファックス受信など、本番さながらの緊張感を持った訓練となりました。

中部支社では、今回の防災訓練の結果を踏まえ、課題について改善を図るとともに、実際の災害発生時に適切な対応を行えるよう努めてまいります。



■伝達訓練の様子



■情報収集訓練の様子

○ 令和2年度（第23回）中部ブロック技術研究発表会を開催しました

9月17日（木）令和2年度（第23回）中部ブロック技術研究発表会を中部支社で開催しました。

中部ブロック技術研究発表会は、中部管内で業務に従事する職員が、日常業務の中で実施した試験、調査、計画、設計、施工、管理等に関する研究の報告及び創意工夫した内容の発表提案を行い、技術の向上、開発、蓄積を図るとともに、職員の自己啓発と研究意欲の喚起及び技術情報発信の場とすることを目的に毎年開催しており、今回で23回目となります。

発表会後半には、岐阜大学の原田先生を講師にお招きし、『気候変動下での水資源管理～高まる期待と課題』と題して、気候変動のメカニズムや水資源管理への期待と課題について講演をいただきました。

論文及び発表の審査委員として大学等の先生4名に表彰論文の審査に携わっていただくとともに、分野毎の発表を総括したコメントをいただきました。

審査の結果、以下の論文が審査委員長の中部支社長より表彰されました。

なお、優秀賞の5題は12月8日（火）に行われる本社の発表会へ中部ブロック代表として発表することとなります。

優秀賞受賞者一覧

論文名	所属	氏名
併設水路活用に伴う配水への効果について	豊川用水総合事業部	佐原 大理
水門運転状態管理・診断システムによるIoTを用いた状態監視保全への取り組み	長良川河口堰管理所	櫻庭 崇紘
長良川河口堰におけるAI技術を活用したアユ遡上数自動計数システムの構築	長良川河口堰管理所	田中 幹大
トンネル工事における空中電磁探査法を利用した前方探査について(報告)	豊川用水総合事業部	池内 晃
佐布里池耐震補強工事の盛立工におけるICT施工について	愛知用水総合管理所	川崎 彩花

特別賞受賞者一覧

論文名	所属	氏名
タブレット端末を用いた業務支援	味噌川ダム管理所	山口 哲平
フロート式水位計測水筒連通管の復旧について(現場報告)	岩屋ダム管理所	河合 美乃里
極小断面NATMにおける施工上の安全管理について	豊川用水総合事業部	宮地 優太



■感染症対策を行っての発表会



■受賞者との記念写真

豊川用水総合事業部

○ インターンシップを実施しました

豊川用水総合事業部において、2回に分け、計3名の学生が就業を体験しました。

第1回目（7/27～8/7）は、豊川用水の近傍に住む大学3年生で、はじめは豊川用水や受益地の農作物についてもほとんど知らない様子でしたが、2週間の様々な体験を通して機構、さらには豊川用水が担う役割について理解を深めてもらいました。また、最終日に報告会における学生のプレゼンスキルの高さに驚かされました。

第2回目（8/24～8/28）は、高専学生の2名で、当機構のことを知りたくてインターンシップに応募したという向上心と熱意がある学生でした。1週間のスケジュールに管理と建設を詰め込み、しんどいかなと心配しましたが、期間中とても熱心で前向きな発言や質問が多く、職員にとっても、やりがいを感じる日々でした。

両回とも、最後にアンケートをお願いしましたので、その一部をご紹介します。

質問 特に印象に残ったことは何ですか？

回答

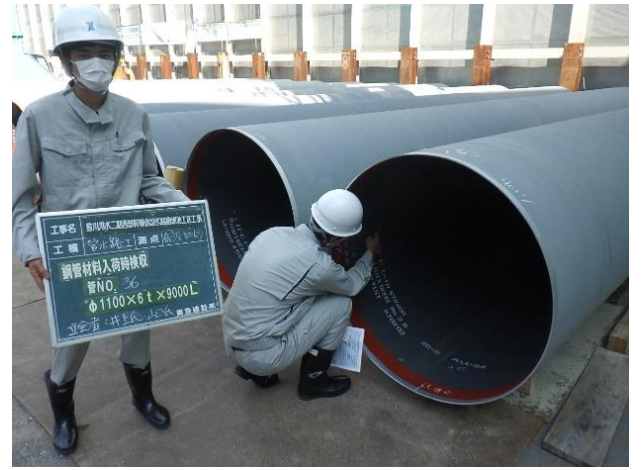
・工事現場に若い女性がいたこと。設計課にも女性が二人いたこと。女性の社会進出を肌身で感じました。

・工事課の方と施工されている方がよく話されていたことが特に印象に残っています。こういった積み重ねが事故なく設計どおりの施設をつくることにつながると感じました。

・みなさんが仕事に誇りを持っていることが感じられた。この仕事は人々の「普通の」生活を守るためになくてはならない仕事であり、やりがいのある仕事であると思います。



■ プレゼンの様子(1回目)



■ 工事現場監督の体験(2回目)

○ 田原市博物館にて豊川用水が紹介されています

田原市博物館では、10月3日(土)から11月29日(日)の間、企画展「ふるさとの歴史～渥美半島2万年の歴史を探訪する～」が開催されています。この企画展は、豊川用水を含めて「渥美半島の歴史の中で特に重要と思われるテーマに基づいて、先人の残してきた考古遺物や文書を取り上げ、2万年を一気に振り返る」(開催要綱一部抜粋)という壮大なテーマに基づいて、現在の渥美半島に暮らす我々自身の来し方行く末を改めて考えるという目的の下、開催されています。

この企画展の開催にあたっては、「豊川用水はこの地域の発展になくてはならないもので、ぜひこの企画展で取り上げたい」という田原市博物館の学芸員からのご要望があり、当事業部が全面的に協力させていただきました。

企画展では、豊川用水が開通したことにより渥美半島は日本屈指の農業地帯となったことや、豊川用水の構想者である近藤寿市郎(こんどうじゅいちろう)氏の紹介のほか、田原市博物館の館長が所有されているという貴重な写真や、農作業に使われていた機具などが分かりやすく展示されています。興味のある方はぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

■ アクセスマップ

〒441-3421 愛知県田原市田原町巴江11-1 TEL.0531-22-1720 FAX.0531-22-2028



木曾川水系連絡導水路建設所

○ 「冠山登山道清掃活動」に参加しました

10月3日（土）、NPO法人揖斐自然環境レンジャー・揖斐川上流漁業協同組合・生命の水と森の活動センター協議会主催による揖斐川上流水源地域の清掃活動の一環である「冠山登山道清掃活動」に当建設所も参加しました。

当日は、あいにくの曇り空の中で、他団体の方や徳山ダムの職員とともに総勢21名の参加により冠山峠までの林道をエリア分けしてゴミを収集（空缶や食べ物の空袋など）して揖斐川の水源の豊かな自然環境の保全活動を行いました。

峠に集合して全てのゴミを集めた後は、一同揖斐川水源である冠山の山頂を目指して登山を行いました。道中はアップダウンの厳しいコースで最後は勾配のきつい岩壁を登り山頂に到着しました。山頂は霧がかかっていたのですが、時折霧がはれると遙か眼下は揖斐川の水を満々に湛える徳山湖を望む絶景でありました。



■ 清掃作業の様子



■ 冠山山頂から徳山湖を望む

愛知用水総合管理所

○ 南知多町立篠島小学校と八百津町立錦津小学校の交流学習会を実施しました

愛知用水の取水口がある岐阜県八百津町と110km以上を隔てて用水路で繋がった愛知県南知多町は、いずれも名鉄電車の始発駅があったことから、「愛知用水が繋いだ二つの町は、どちらも始まりの町でした」をキャッチフレーズに友好交流が続いています。この交流の一環として、毎年、それぞれの町内にある小学校の児童が交互に訪れる交流学習を行っており、今回で25回目の交流学習を迎えることとなりました。

今年は9月8日（火）に、篠島小学校の4年生14名と錦津小学校の4年生17名が、交流学習に先だって、合同で取水口の見学を行いました。

交流学習会では、錦津小学校の皆さんが、歓迎の横断幕を掲げて篠島小学校の皆さんをお迎えし、交流行事開始の式が行われました。

その後、愛知用水の説明や取水口での除塵作業を見学していただきました。取水口部の除塵機が

実際に動く光景を目にすると、児童たちから様々な質問が職員に飛んで来ました。

ゴミは1日でどれくらい引き上げるの？ゴミが下流に流れたらどうなるの？このハンドルで何をするの？この水は何処に行くの？等々。

この交流行事は例年、1泊2日で開催されてきましたが、今年はコロナ感染症対策の影響で日帰り行事となり、見学時間も限られたものとなりました。来年もお手伝いできることを、首を長くして待っています！



■交流事業開会式の様子



■事業説明を聞く児童ら

○ 牧尾ダムの地元である王滝村立王滝小学校5年生の施設見学会を実施しました

9月16日（水）に、愛知用水の水源である牧尾ダムに、地元王滝村の小学5年生4人、先生と地元の方の6人が施設見学に来られました。

王滝小学校に、今年1年生一人の児童が入学しましたが、転校し、現在1年生はいません。全校生徒13人です。例年であれば毎年6月頃に知多半島に行くそうですが、今年はコロナ禍の中で中止となったため、牧尾ダムの見学のみとなりました。

日頃から見慣れているダム見学となりましたが、説明をしている際は興味深く見学していました。

はじめに愛知用水事業、牧尾ダムの概要及び職員の仕事内容について説明を行い、ダムのゲート放流の様子を上映し、牧尾ダムの建設当時の小学校や村の様子の写真による説明を行いました。

操作室で、監視カメラの移動操作、気象観測設備の操作（マウス）により、雨雲の流れやダムで重要な降雨予測について説明しました。児童たちの一番人気だったのは、望遠鏡で貯水池を眺めた時でした。

最後に、外に出て堤体からダム施設とダム湖を見学しました。児童たちは、ダムの大きさに驚き、御嶽湖を泳ぐ魚を見つけて喜んでいました。

コロナ禍で学校の行事・イベントが少なくなる中で、地元の牧尾ダムで1時間余りの施設見学でしたが、楽しまれた様子でした。



■ 気象観測設備に見入る児童ら



■ 操作室から望遠鏡で貯水池を眺める

木曾川用水総合管理所

○ 進藤金日子前総務大臣政務官が濃尾第二施設を視察

8月26日（水）進藤金日子総務大臣政務官（当時）が木曾川用水濃尾第二地区の施設を視察されました。

濃尾第二施設（木曾川用水立田第2揚水機場）の視察では、濃尾第二施設が地域の営農に欠かせない重要な施設であることと、現状を踏まえた改修等の対策が必要となっていることについて職員が説明を行うとともに、海部土地改良区の案内で地盤沈下や老朽化による損傷が著しい施設の現状を確認いただいた後、愛知県及び海部土地改良区を交えて意見交換を行いました。



■ 施設説明



■ 意見交換

○ 可搬式ポンプの操作訓練を実施しました

8月25日（火）地域連携の強化を図るため、愛知県尾張水道事務所、木曾岬町土地改良区、桑名市役所、木曾岬町に参加いただき、可搬式ポンプの操作訓練を実施しました。

当管理所には、漏水事故や災害発生時における迅速な復旧及び用水供給の確保を図る目的で可搬式ポンプが配備されており、有事に備えた職員の防災能力の向上を図るため、関係機関と協働で可搬式ポンプの操作訓練を定期的の実施しております。



■可搬式ポンプの操作訓練の様子

○ インターンシップを実施しました

木曽川用水総合管理所では今夏もインターンシップを受け入れました。今回は、三重大学2名（8月17日～28日）と長浜バイオ大学1名（8月17日～21日）の計3名を受け入れ、木曽川用水事業の学習、施設操作の実習、機械・電気設備の巡視・点検実習、防災対応実習等の管理業務に係る実際の作業を体験、上流部の木曽川右岸施設、下流部の濃尾第二地区の施設を見学し、河川から取水した水が、どのように導水・配水され利用されていくか理解を深めました。

この2週間の体験の締めくくりの成果を発表では「機構職員の水管理に対するプロ意識、責任感を感じることができた貴重な10日間でした。」との感想がありました。



■操作室での研修



■巡視、点検実習

○ 白川取水口（木曾川右岸施設）のフラッシング操作を実施しました

9月24日（木）白川取水口に堆積した土砂のフラッシングを実施しました。フラッシングとは一時的に取水量を増加させ、堆積した土砂を流下させる操作です。

今回は7月の豪雨の影響で堆積土が多いことが懸念されましたが例年程度の堆積量でした。あらかじめ手作業で取水口内の堆積土砂をほぐし、堆積土砂を流下させやすくした後、トンネルの下流側への移動作業をおこないました。

このフラッシングは、平成20年9月に堆積土砂から発生した「カビ臭物質(ジェオスミン)」の対策として、平成21年度から年2回(4、9月)実施しているもので、年1回実施している堆積土砂の撤去と合せて、その効果が確認されています。



■土砂移動作業



■トンネルの下流に移動した土砂

○ 稲沢市立長岡小学校の児童らと木曾川の堤防清掃を行いました

10月13日（火）爽やかな秋晴れの下、長岡小学校3・4年生45名、先生3名と機構職員12名が集まり、木曾川大堰左岸下流の堤防清掃を行いました。

捨てられているゴミは、以前に比べて少なくなっているように感じられますが、依然として堤防道路から投げ捨てられたプラスチックゴミ、瓶、たばこの吸い殻などが多く見受けられる状況でした

当管理所では、児童らがこの活動を通じて河川をきれいにする心を育むよう、引き続き河川清掃の手伝いをしていきます。



■清掃活動の様子



■集めたゴミの前で記念撮影

岩屋ダム管理所

○ 環境体験学習会を開催しました

9月15日、馬瀬川下流漁業協同組合と協働で、下呂市立東第一小学校の3・4年生13名を対象とした「環境体験学習会」を開催しました。この学習会は、岩屋ダムや馬瀬川についての説明と、水生生物の採集やアマゴの放流体験を通して、地域の自然環境や川への関心を高めてもらうためのものです。

岩屋ダムの説明では、児童たちは興味津々な表情で耳を傾け、質問も積極的にしてくれました。馬瀬川に生息する水生生物の採集では、楽しそうに生き物に触れていました。これら採集した水生生物から、馬瀬川がきれいな川であるを知り、自然を汚さないことの大切さを理解したものと思います。アマゴの放流も珍しい体験として、興味深い様子で取り組んでいました。

学習会後に行ったアンケートには、「自然を汚さないようにしたい」や「地元にある馬瀬川がこんなに綺麗だったなんて驚きました」との感想もあり、大変有意義なものと感じました。



■岩屋ダムについて学ぶ様子



■水生生物を採集

○ 岩屋ダム魚下敷きを作成しました

岩屋ダムのダム湖（東仙峡金山湖）に生息する魚たちを一覧にした下敷きを作成しました。下敷きの表には、岩屋ダムの迫力ある写真を使用し、裏面には東仙峡金山湖に生息する代表的な魚たちをピックアップしました。

小学生の施設見学等の際に児童らに配布すると、「こんなに魚が住んでいるなんて知らなかった!」、「もっと早くこの下敷き欲しかったー」など、好評価でした。岩屋ダムについてより知ってもらえるツールとしてこれから活用してもらえることに期待します。



■岩屋ダム魚下敷き 表



■岩屋ダム魚下敷き 裏

○ 下呂市立竹原小学校の岩屋ダム施設見学会を実施しました

10月16日、竹原小学校の6年生32名が施設見学会にやって来ました。今年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で県外への修学旅行が中止となり、異例の修学旅行としての岩屋ダムへの訪問でありました。そのため児童らに楽しんでもらえるか職員も不安ではありましたが、岩屋ダムの概要説明に、興味津々で耳を傾け、さらにゲート室やダム堤体の見学では、一生懸命にメモをしたり、持参したデジカメでたくさん写真を撮ったりと、満足してもらえた様子で大変いい見学会になったようです。



■ゲート室見学



阿木川ダム管理所

○ インターンシップを実施しました

阿木川ダム管理所では10月6日（火）～8日（木）に地元恵那農業高等学校環境科学科2年の生徒4名のインターンシップを実施しました。

初日は事業概要説明を行った後、ダム堤体観測、貯水池周辺巡視を実施しました。

2日目は電気設備点検、機械設備点検、湖面巡視といった現場での通常業務を体験していただきました。併せて初夏に植え付けを行った空心菜の刈り取り作業を行いました。管理所に戻ってからはダム湖で採取した水に生息するプランクトンを顕微鏡で観察しました。

3日目はダム下流の巡視を実施し、防災資料館のビジネスプランも計画していただき、資料館の集客率を上げるための対応策について検討していただきました。研修の最後には、研修生のインターンシップで学んだことについて、管理所職員にプレゼン資料を用いて発表していただきました。それぞれの発表する姿からは成長した様子が窺えました。

今後研修生は、秋に学内で行なわれるインターンシップ報告会において、阿木川ダム管理所で学んだことについて発表されます。

3日間という短い期間でしたが当管理所において、ダムの役割・ダムの維持管理の重要性を理解して頂いたと思います。



■ 堤体観測



■ 水質調査



徳山ダム管理所

○ 苗木のホームステイ活動を実施しました

9月29日（火）に「苗木のホームステイ活動」を行いました。これは毎年、野生動物の餌となる「実のなる木（ブナ、トチノキ、クリなど）」の小苗を地元の小学校児童、中学校生徒の皆さんに預けて育成してもらい、徳山ダム建設の際に堤体材料のコアを採取した跡地（通称コア山）に自らの手で植樹するものです。今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため小苗の育成は行わず植樹作業のみとなってしまいましたが、地元揖斐川町の北和中学校2年生46名が2名ずつのペアとなり作業を行いました。植樹をするためには、深さ30センチ程度まで掘る必要があり、掘り進めると石が混じった箇所が多く苦労していました。その後、掘った穴に苗木を置き腐葉土と土を被せて固定し、食害防止の筒で覆って、全体を固定するための杭を打って終了です。食害防止の筒は時間の経過とともに朽ちて自然に還る素材でできています。今後も引き続き、地域の協力を得ながら環境保線の取り組みを行ってきたいと思います。



■石混じりの土に苦戦



■二人一組で作業



■植樹終了

長良川河口堰管理所

○ 大規模地震を想定した地震防災訓練を行いました

9月1日（火）中部支社と連携し南海トラフの大規模地震が発生したことを想定した地震防災訓練を行いました。この訓練では、地震発生に伴う初動態勢の確立及び情報収集・伝達の訓練並びに応急対策の訓練を行い、職員の防災業務における円滑かつ適切な遂行及び防災意識・対応能力の向上を図りました。

また、午後の個別訓練では、①携帯電話の安否確認サービスを用いた“情報伝達訓練、”②桑名市の指定避難所としての機能を持つ管理所資料館「アクアプラザながら」における“避難所開設訓練、”③管理所から共同溝を経由して各ゲートに接続されている電源及び通信ケーブルが損傷したことを想定した“電源及び通信ケーブルの切り替え訓練”に取り組みました。



■一斉訓練（防災本部の様子）



■一斉訓練（管理橋閉鎖）



■一次点検（ゲート点検）



■個別訓練（電源切り替え訓練）

味噌川ダム管理所

○ 河川整備作業を行いました

9月20日（日）、木祖村の「水の始発駅公園」の河川環境整備に味噌川ダムも参加しました。整備内容は、木祖村役場から南へ500mほどの場所にある河川公園「水の始発駅公園」を木曾川の玄関口として木曾川の流れとともに親しみを持ってもらえるように維持・管理をするというものです。

味噌川ダムは、これからも地元木祖村の皆さんとともに河川環境整備に取り組んでまいります。



■ 整備作業の様子



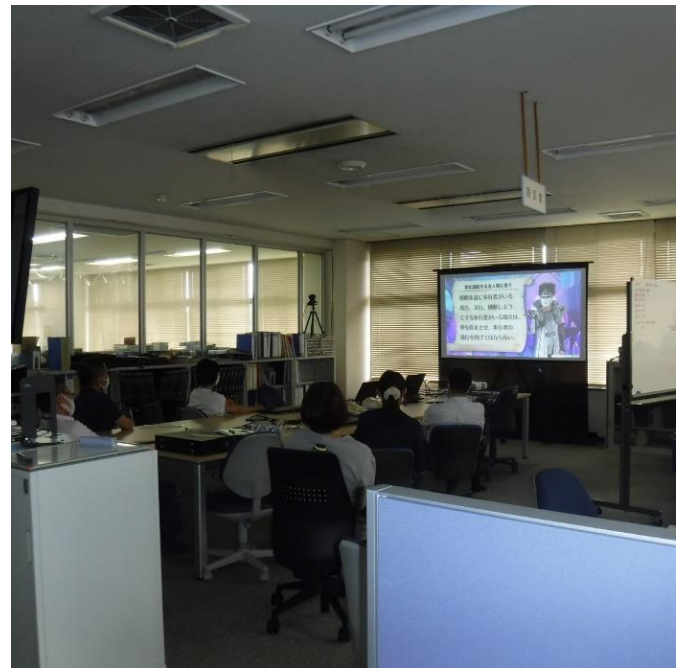
■ 田中村会議員の終了のあいさつ

三重用水管理所

○ 交通安全講習会及びテロ対策講習会を実施しました

三重用水管理所では、9月14日（月）に交通安全講習会及びテロ対策講習会を実施しました。交通安全講習会では、四日市西警察署から交通安全に係るDVDをお借りし、視聴しました。職員一同交通事故防止の徹底及び一層の交通安全意識の向上に努めています。

今年1月より当所がテロ対策四日市西地区パートナーシップ「みテますキープ制度」モデル事業所に指定されているため、テロ対策講習会を開催しました。本講習でもDVDの視聴し、世界のテロ情勢と対策に関する知識の向上を図りました。



■ 講習会の様子



○ 赤川の清掃活動を実施しました

三重用水管理所では、9月15日(火)に菰野調整池(きらら湖)直下流の赤川沿いの清掃除草作業を実施しました。

これは、赤川において環境保全などについて地域活動を行っている「マこもの里自然に親しむ会」と協働で実施しているものです。

これからも水辺の生物たちが赤川で元気に生活出来るよう、定期的に赤川の清掃活動に取り組んでいきます。



■ 清掃作業の様子

イベントカレンダー

中部管内関連のイベントカレンダー

【令和2年11月～12月】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほとんどのイベント等は中止となっております

12月		機構のイベント	地域のイベント
日	曜		
15	火		揖斐・長良川中堤クリーン大作戦 (NPO 木曾三川ごみの会ほか)
28	月	仕事納め	

徳山ダム管理所：<https://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/>
長良川河口堰管理所：<https://www.water.go.jp/chubu/nagara/>
味噌川ダム管理所：<https://www.water.go.jp/chubu/misogawa/>
三重用水管理所：<https://www.water.go.jp/chubu/mieyosui/>

発行者：水資源機構中部支社